

令和4年度明るい選挙啓発 ポスターコンクール優秀賞作品



厚木市立戸田小学校 1年
眞竹 春希



厚木市立依知南小学校 2年
栗原 理彩



寒川町立旭小学校 3年
池澤 花音



藤沢市立駒寄小学校 4年
柴田 結衣



秦野市立東小学校 5年
小田 芹愛



秦野市立堀川小学校 5年
石井 千恵里



横須賀市立山崎小学校 6年
本名 琳



厚木市立愛甲小学校 6年
木村 美嶺



厚木市立鷹尾小学校 6年
本庄 彩葉



伊勢原市立高部屋小学校 6年
中澤 知美



秦野市立本町中学校 1年
浅川 舞衣乃



嗣友学園女子中学校 1年
奥瀬 美月



相模原市立鶴野森中学校 2年
古森 糸葉



平塚市立大野中学校 2年
高木 倭



川崎市立宮内中学校 3年
志水 幸菜



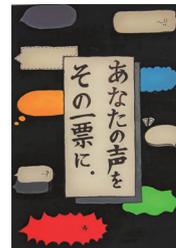
箱根町立箱根中学校 3年
西村 侑嗣



神奈川県立希望ヶ丘高等学校 1年
熊谷 優那



神奈川県立希望ヶ丘高等学校 1年
西片 礼衣



麻布大学附属高等学校 1年
石山 結子



神奈川県立神奈川工業高等学校 2年
小林 桃華



川崎市立川崎総合科学高等学校 2年
力丸 雪乃



川崎市立中央支援学校高等部分教室 3年
三橋 安里



神奈川県立藤沢工科高等学校 3年
堀川 実乃里

あらし

「明るい選挙啓発ポスターコンクール」は、明るい選挙を推進するために、小学校・中学校・高等学校等の児童生徒の皆さんを対象に、毎年実施されています。

今年もたくさんの応募があり、どの作品も選挙の大切さを表現するため意匠を凝らしていました。そのため選考が非常に難しく、審査員も審査に当たり大変苦労しました。応募された児童生徒の皆さん、御協力いただいた先生方に深く感謝します。

これからも、一人でも多くの皆さんが、政治や選挙に興味を持って、応募してくださることを期待しています。

応募状況

今年度は、237校から、2,123点の応募がありました。

審査結果

令和4年9月29日に行われた県の審査会において、小学生10名、中学生6名、高校生7名の計23名の方が優秀賞を受賞されたほか、小学生20名、中学生19名、高校生8名の計47名の方の作品が佳作となりました。

審査員

青木 美穂（神奈川県教育委員会教育局指導部高校教育課高校教育企画室主査兼指導主事）

與那城 智栄子（神奈川県政策局知事室副主幹・広報デザインアドバイザー）

飯塚 優樹・野村 明音・高木 真衣・岩澤 景介・中菌 知也・渡邊 亮太・渡邊 友介・上野 雄平・平岡 康之介・

飯塚 大騎・山村 悠乃（かながわ選挙カレッジ実習生11名）

神奈川県選挙管理委員会委員

神奈川県選挙管理委員会書記長・書記長代理

審査講評

審査員代表 青木 美穂

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、人々の生活に様々な制限がありましたが、少しずつ元の生活に戻していこうと社会が動き始めています。そのような中で、今年も「明るい選挙啓発ポスターコンクール」が開催され、2,000点を超える大変多くの作品が県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校から集まりました。ここから県の審査で23点を優秀作品として選出し、県の代表として全国審査へ出品しました。

どの作品も選挙のことをよく調べ、そこから得た選挙への印象や選挙に対する人々の思い等と向き合い、制作者が主体的に生み出した主題を基に、モチーフや色彩、構図を工夫して「明るい選挙」というテーマが効果的に人々に伝わるポスターとなっていました。その中から、印象に残った作品を紹介します。

- ・池澤 花音 さん 一輪の小さな花でも、たくさん集まると華やかな花束になるように、一人ひとりが投票する一票は小さいかもしれないけれど、たくさん集まると大きな一票、大きな声になるということが、花束を大きく描くことで効果的に表現されています。花束の花は全て違う色で塗られており、多様な人々の「声」が集まっているようにも見えます。一票の「一」の字に黄色い花を重ねて「一」を強調しているところから、その一票を大切に思っていることが伝わります。
- ・高木 倭 さん 構成要素は富士山、投票用紙、キャッチコピーの3つしかなく、使用している色も水色と緑と無彩色（白・黒・グレー）しかありません。しかし、描くものを極力少なくしたことで、制作者のメッセージが真っ直ぐに伝わってきます。また、富士山は頂上画面の中心に来るように配置され、投票用紙は文字や記入枠の要素のみを使用し、キャッチコピーは黒のゴシックで画面全体を覆うように描かれており、見る人に印象的に伝わる工夫がされています。
- ・力丸 雪乃 さん 三原色のライトを当てたような光が分散している、手のシルエットがとても印象的です。「投票する手」、「未来」という文字、「投票箱」が縦中央に配置され、画面の中心に集中線の中心があることで、見る人の視点を「未来」という文字に引き付けています。集中線を構成する色面を彩度の低い色で着彩することで、暖色系の文字が鮮やかに見える工夫もなされています。投票箱も映り込みを表すような様々な明暗のグレーと黒とのラインで描かれており、画面に統一感が出ています。
- ・三橋 安里 さん 選挙権を得たばかりだと思われる高校生が、自分たちの日本の未来を思って投票に行こうと太陽に誓っているような構図が印象的です。男子生徒が力強く拳を握っている姿や、女子生徒の穏やかな笑顔、「投票」の文字を黄色く着彩しそれぞれに「！（感嘆符）」を付ける工夫などから、全体的に元気で明るい雰囲気伝わり、「明るい選挙」というテーマをしっかりと表すことができています。

「明るい選挙啓発ポスターコンクール」が今後も継続し、人々が選挙を身近に感じ、社会における様々な課題について共に考える機会となるよう、たくさんの素晴らしい作品が集まることを期待しています。

たくさんの作品
応募ありがとう！



“選挙のめいすいくん”